

建築家が創るHOPデザイン。

森[®]を建てよう。

屋外のような開放感と快適性が同居する家

札幌市K邸

快適な室内環境に身を置きながら、屋外で過ごすような開放感を得て暮らしたい。その思いを満たす仕掛けが、2層分のガラス窓を持つ高さ6mの大空間です。そこは刻々と表情を変える空の様子を映し出すスクリーン。この空間を生活の場として設えるため、壁面のタイルの割付や象徴的な照明など、素材やモノのスケールを繊細に調整しています。

また、大空間を最適な環境とするため、地熱ヒートポンプを導入し、冷暖房を全館一括でコントロール。大きな窓は自然光による採光とともに採暖を可能にしながらも断熱性能の高い木製のカーテンウォールを採用しています。

使い勝手にこだわった特注の造作キッチン、2階脱衣室からのランドリーシューターなど利便性も追求。自然の光と影が満ちる、自然を感じる住まいとなりました。

撮影 / 木田 勝久

HOP
Housing Operation Project Group